



パワー (電力・動力)

2009

秋

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙58号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ **ホンマ電機** 検索
発行責任者 本間 俊三

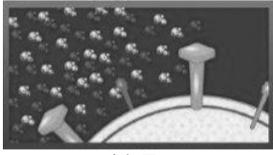
BUSINESS フィールド

ダイキン工業(株)の公的機関が認めた
ダイキンのクリーンテクノロジー
新型インフルエンザが流行しているなかで、今注目を集めている商品があります。エアコン専門メーカーダイキン工業(株)が開発し、海外や日本公的機関が「インフルエンザ100%分解・除去」とその効果を認めた空気清浄機です。

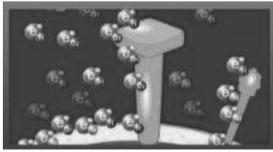
推定される「ストリーマ」放電技術によるウイルス分解メカニズム



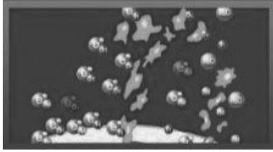
ストリーマ放電で電子を放出



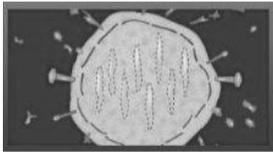
ストリーマが大量にウイルスに当たる



ストリーマがウイルスに当たり酸化分解



酸化分解したウイルス(蛋白質)はバラバラになり、ストリーマは安全な窒素・酸素・水素分子に戻る



表面の蛋白質を酸化分解

メーカ資料には確かな技術的根拠としてではなく、推定としてウイルス分解のメカニズムを掲載しているところが嘘っぽくなく面白いです。

科学の進歩段階では、効果や現象が先に発見され、後で根拠や裏付けがなされることもよくあります。この場合も、効果を鳥インフルエンザ研究では世界最先端を行くベトナムの研究機関が最初に確認し、次々と日本の医療機関が検査して

ダイキン工業(株)

光速ストリーマ技術空気清浄機

平成23年7月24日 アナログ放送の停止

速やかにデジタル対応の備えを

近テレの買い替えが進んでいますが、テレビ買い替えの大きな動機は、1年9ヶ月後に迫ったアナログ放送の停止を忘れてはなりません。デジタル対応を済ませていないお宅は、平成23年7月24日以降、電波の受信が出来なくなるわけで、このことはテレビが映らなくなることであり、はつきり認識していかない方も多くおられるようです。そのためアナログ波による放送の停止が近くなると、駆け込み需要による大きな混乱を予想する向きもあります。

これからデジタル対応を、とお考えの方に

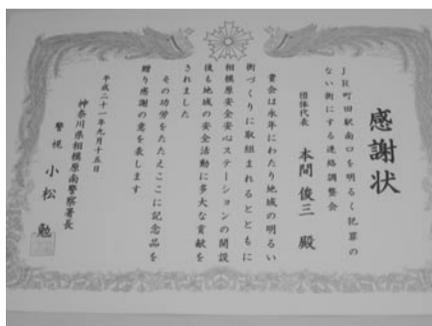
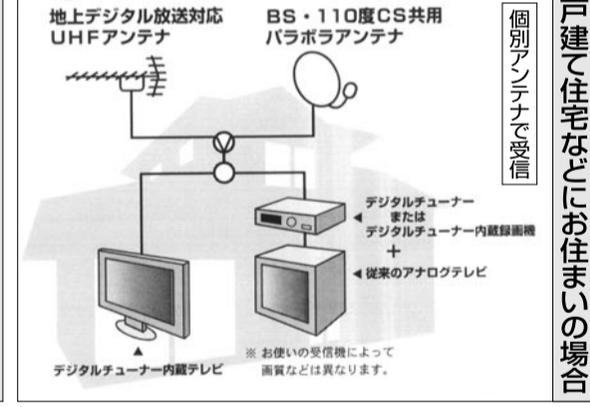
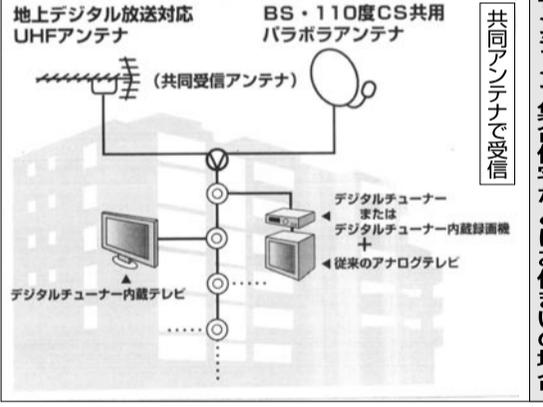
これからデジタル対応を、とお考えの方は、まず受信機(テレビ)を確認して下さい。対応機に買い替えた場合は別として、従来のアナログ機でその日を迎える方は、デジタルチューナーが必要です。次にアンテナですが、地上デジタル放送を見る場合は地デジ対応UHFアンテナを、さらにBSデジタル放送を見る場合はパラポラアンテナも必要です。UHFとBSアンテナが既にある場合、今まで使っ

いたものを使うこともできませんが、調整や交換が必要な場合もあります。最近では屋根にアンテナを置くお宅が少なくなりつつあります。これは多様な受信方法が出てきたからです。大きく分けると、個別アンテナで受信、共同アンテナで受信、またはケーブルテレビを利用するなどの方法もあります。

まず自分の家ごとの方法で受信しているか、確認して下さい。地上デジタル放送受信を契機に、今後の受信方法を検討するのもよいでしょう。それぞれに特徴があつて立地条件、初期コストやランニングコスト、放送受信以外の機能などを総合的に勘案し、決定されると思います。なお、当社では地デジ対応改修の実績が多数あり、さまざまな相談にも対応しております。

ホンマ電機の施工例

個別受信	マンション等共同アンテナ
相模原市内の個人住宅 多数	グリーンハイツ 相模大野ハイライズ 等



表彰状



署長室にて表彰される

☆地域の明るい街づくりで表彰
弊社代表本間俊三は、「JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会」の活動を通し地域防犯に貢献したとして、9月17日相模原南警察署長より表彰を受けました。
犯罪の温床であった風俗街の撲滅を目指して、連絡調整会を11年前に立ち上げるとともに、風俗街の跡地に建設された民間交番を、市民とともに運営していることに対するものです。



大劇場で鶯娘を舞う

☆花柳真菊 国立劇場で舞う
舞踊歴27年の弊社専務・花柳真菊が、さる9月21日国立劇場で長唄鶯娘を踊りました。
鶯娘が恋の責め苦と地獄の苦しみの果てに息絶えるという筋書きで、専務は大舞台を活かして華やかに踊りぬきました。
なお同日は文部大臣賞など数々の賞に輝く花柳壽恵幸師60周年記念の会で、四世宗家家元花柳壽輔も出演しました。



バーベキューを楽しみながら談笑する

☆納涼バーベキューの集い
恒例のバーベキューの集いが、さる7月31日夕方、弊社駐車場で開催されました。社員の家族たちも参加し、ビールで乾杯、多忙な仕事の疲れを癒しました。



近況報告

このイメージマークはサービスマークとして登録されております。



相模大野フード&ジャズフェスタ “もんじえ2009”

相模大野最大のお祭り

第5回 大野もんじえ祭



もんじえ祭り全景

「もんじえ」の語源はフランス語で「食べる」という意味があるそうで、ジャズを楽しみながら相模大野飲食店が提供するプロの料理を味わえるという趣向です。出店者が全てプロの飲食店であるうえ、

初回から携わった電気工事

いまや相模大野最大のイベントとなった「食とジャズ」のお祭りは、第5回目を迎えました。今回からは弊社社長本間俊三も実行委員に加わり、会社と両面から協力させて頂きました。

「もんじえ」の語源はフランス語で「食べる」という意味があるそうで、ジャズを楽しみながら相模大野飲食店が提供するプロの料理を味わえるという趣向です。出店者が全てプロの飲食店であるうえ、

一部の専門作業を除き、企画から実施まで殆どが市民の手作りであり、1月から企画書や実施計画書作りに着手、8月の本番に向けて動き出します。現下の経済状況の中で、一番心配された協賛者募集も、出店者や実行委員の努力で予定額が集まり、計画に沿った準備が進められました。

心配だった天候も2日間とも晴天に恵まれ、祭り全体の人出は5万人を超えたようです。販売が見込みを大きく上回り早々と完売した店や、追



もんじえ祭りの配線作業中

加仕入れに走るなどの盛況ぶりでした。

本間社長は実行委員として設営を担当、ホンマ電機が会場内の電気設備を任せられました。社員たちは5年目でもあり手際よく作業し、今年も開催中のトラブルは皆無でした。

今年の夏も市内各地で夏祭りが開催され、当社では例年のように近隣約20ヶ所の自治会・商店会・自治連・神社などの電飾工事をお手伝いさせて頂きました。

イベント向け電飾工事の電源として、従来は電力会社配電線から臨時引き込みを行って対応していましたが、今後の流れとしては可搬型発電機に移行するものと思われま

夏祭りの電飾工事

青少年育成支援プログラム 相模原市内4ライオンズクラブ

相模原市内4クラブは4年前から「ライオンズクエストプログラム」を推進支援しています。このプログラムはライオンズクラブ国際協会の推進するもので、子供たちの生きる力や伸びる力を育み指導する

いじめなくなり、仲間、友達意識 芽生え、荒れていた学校落ちつく

「もんじえ」の語源はフランス語で「食べる」という意味があるそうで、ジャズを楽しみながら相模大野飲食店が提供するプロの料理を味わえるという趣向です。出店者が全てプロの飲食店であるうえ、

一部の専門作業を除き、企画から実施まで殆どが市民の手作りであり、1月から企画書や実施計画書作りに着手、8月の本番に向けて動き出します。現下の経済状況の中で、一番心配された協賛者募集も、出店者や実行委員の努力で予定額が集まり、計画に沿った準備が進められました。

心配だった天候も2日間とも晴天に恵まれ、祭り全体の人出は5万人を超えたようです。販売が見込みを大きく上回り早々と完売した店や、追

相模原市内4クラブは4年前から「ライオンズクエストプログラム」を推進支援しています。このプログラムはライオンズクラブ国際協会の推進するもので、子供たちの生きる力や伸びる力を育み指導する

いじめなくなり、仲間、友達意識 芽生え、荒れていた学校落ちつく

「もんじえ」の語源はフランス語で「食べる」という意味があるそうで、ジャズを楽しみながら相模大野飲食店が提供するプロの料理を味わえるという趣向です。出店者が全てプロの飲食店であるうえ、

一部の専門作業を除き、企画から実施まで殆どが市民の手作りであり、1月から企画書や実施計画書作りに着手、8月の本番に向けて動き出します。現下の経済状況の中で、一番心配された協賛者募集も、出店者や実行委員の努力で予定額が集まり、計画に沿った準備が進められました。

心配だった天候も2日間とも晴天に恵まれ、祭り全体の人出は5万人を超えたようです。販売が見込みを大きく上回り早々と完売した店や、追



可搬型発電機の据え付中



今年新たにお手伝いした大野南ふるさと祭り

企業ルポ

お客様紹介 57

グリーンハイツ団地管理組合法人

〒228-0801 神奈川県相模原市鶴野森1-28-25



理事長 及川 健一郎 氏

TEL・FAX 042-741-9680



自治会の夏祭り(電飾はホンマ電機)



グリーンハイツ中央広場

グリーンハイツ団地管理組合

- ・設立 昭和49年4月
- ・理事長 及川 健一郎氏
- ・年間決算額 1億2千万円
- ・棟数 22棟
- ・戸数 624世帯(約1500人)
- ・敷地面積 約5万1千500平米
- ・事業内容 共有財産の維持管理

高級マンションのイメージの下に売り出されたグリーンハイツの設立・居住開始は昭和44年で、設立時には管理会社に委託されていた管理運営が5年後、同管理組合の名の下で立ち上げられました。

サラリーマンの平均年収が約30万円であった当時、価格が450～560万円の同ハイツは、人々の高嶺の花であったことでしょう。

各戸のスペースは4LDKも40戸ありますが、78平米の3LDKが最多の500戸を占め、柱がなく部屋が広いのが特長です。

同管理組合の大きな事業は、毎

月各戸から組合に収められた管理費をプールし、建物などの経年劣化に備えての長期修繕計画と実行にあります。建物に関しては屋上の防水や外壁の塗装などの営繕、共有物でもある土地では、植栽の手入れ、給水管・排水管の清掃と取替えなど。ちなみに一昨年は全世帯の水道給水管と排水管の取替え工事を完遂。工事に関しては各戸の出費負担は一切なく、これは共同住宅ならではの長所として特筆に値する事業といえましょう。

生活環境面の充実をはかるための活動としては、自治会があります。住民のコミュニケーションを円滑にするための住民参加の行事を催し、夏祭りやどんど焼き、防災訓練などを行っています。

土地、建物などの財産を共有する団地の利点は、管理に計画性をもたせて資金を積立て、臨時出費なしに営繕を纏めて安く上げられることです。そして建物をこれから

30～40年維持していくための建物診断を常に行い、一定のサイクルで営繕の事業を実施していけることです。ただ立替えなどの大きな事業では、全住民の賛同を得る難しさはあるものの、理解を待つ方法で解決していくようです。

理事長は、活動目標に社会的老朽化を防ぎ「魅力ある団地づくり」として、若い人達にも対応した新しい住環境の導入をと話されます。BS・CSのアンテナ、地デジ対応、各棟にインターネットのミニ中継地を設置するなどしています。

ホンマ電機による地デジ対応の共同アンテナ施工もその一例です。



グリーンハイツ管理事務所